

○人口問題審議会専門委員（任期：昭59. 1. 26～61. 1. 25, 官制順, 敬称略）

<氏名>	<現職>
河野 稠 果	人口問題研究所人口政策部長
河 邊 宏	// 人口移動部長
阿 藤 誠	// 人口資質部長
山 口 喜 一	// 人口情報部長
村 松 稔	国立公衆衛生院衛生人口学部長
吉 沢 晋	// 建築衛生学部長

上記の異動・改選後初の総会になる第42回人口問題審議会総会は、昭和59年2月7日（火）午後1時30分から3時30分まで、厚生省特別第一会議室において開催された。会議は、上記のような審議会の新しい構成についての決定、厚生事務次官の挨拶の後、次の2題の報告およびその対応についての審議が行われた。

1. 国際人口会議の概要について（長尾立子幹事・厚生省大臣官房政策課長）
2. 第22回国連人口委員会及び国際人口会議準備委員会について（岡崎陽一委員）

この報告にある国際人口会議は、本1984年8月6～13日、メキシコシティにおいて、国連主催で開催される予定であるが（詳細は本誌「資料」欄の記事参照）、人口問題審議会は、10年前のブカレスト会議（このときは「世界人口会議」と称していた）のときの経緯を踏まえて特別委員会を設置し、今回のメキシコ会議に向けてわが国の対応を審議すると同時に、これも前回の例にならって、いわゆる「人口白書」を作成することを決定した。

この「国際人口会議に関する特別委員会」は岡崎陽一、黒田俊夫、小泉 明、小林和正、縫田暉子、安川正彬の各委員をもって構成し、委員長には黒田俊夫氏が就任することになった。これには、専門委員が随時審議に参画するが、また、草稿の執筆や資料の提供、説明なども行い委員会の運営に寄与する。

第22回国際連合人口委員会

1984年1月18日から20日まで、ニューヨークの国連本部において、第22回国連人口委員会(Twenty-second Session of the United Nations Population Commission)が開催され、本研究所長である岡崎陽一委員が日本政府代表としてこれに出席した。

国連人口委員会は27か国をもって構成されているが、今回の会議にはオブザーバーとして、15の非メンバー国と国連の加盟国ではないホリーシー（パチカン市国）とが代表を派遣した。そして、国連機関ならびに専門機関、政府間機関、非政府団体を加えて総計58の代表が出席した。

第22回人口委員会の会議議長には、オランダの Mr. Dirk J. van de Kaa が、副議長にはコスタリカの Mr. Victor Hugo Morgan, エジプトの Mr. Aziz Elbendary およびマレーシアの Datin Dr. Noor Laily Dato Abu Bakar が、ラポターにはハンガリーの Mr. András Klinger がそれぞれ選出され、これらの役員の下に議事は進行した。

会議の内容は、本誌「資料」欄に詳細が掲載されているので（岡崎陽一稿）、ここには議題 (Agenda) を次掲するととどめる。

AGENDA

1. Election of officers
2. Adoption of the agenda and other organizational matters
3. Action by the United Nations to implement the recommendations of the World Population Conference, 1974: monitoring of population trends and policies
4. Progress of work in the field of population

5. Programme of work in the field of population for the biennium 1984-1985 and medium-term plan for the period 1984-1989
6. Draft provisional agenda for the twenty-third session of the Commission
7. Adoption of the report of the Commission on its twenty-second session

(山口喜一記)

1984年国際人口会議準備委員会

1981年11月25日の国連経済社会理事会の決議により、1984年国際人口会議の開催（8月、メキシコ）が決定されたが、この決議は、同時に国連加盟国に対して公開した人口委員会をもって国際人口会議準備委員会とすることを決定した。さらに、1982年7月27日の経済社会理事会は、国際人口会議準備委員会であるべき人口委員会を、第22回国連人口委員会に引き続き開催することを決定している。

これらの決定に基づいて、1984年1月23日から27日まで標記の委員会（Preparatory Committee for the International Conference on Population, 1984, 23-27 Jan. 1984）がニューヨークの国連本部において開催された。出席者は96か国の代表、七つの国連機関、五つの専門機関、四つの政府間機関、PLO、12の非政府団体、その他の二つの団体であったが、本研究所の岡崎陽一所長も日本の代表として、上記の国連人口委員会に引き続いてこれに出席した。

この会議の議長には、メキシコの Mr. Gerónimo Martínez、副議長にはガーナの Mr. Frederick Sai、インドの Mr. R.P. Kapoor およびルーマニアの Mr. Pavel Grecu が、そしてラポターにオランダの Mr. Ewald Brouwers が選出された。この会議の詳細についても、本誌「資料」欄に掲載されているところによってもらいたい。ここには議題（Agenda）を示すにとどめる。

AGENDA

1. Election of officers
2. Adoption of the agenda and other organizational matters
3. General preparations for the Conference
4. Review and appraisal of the World Population Plan of Action
5. Recommendations for the further implementation of the World Population Plan of Action
6. Draft provisional rules of procedure for the Conference
7. Annotated draft provisional agenda and proposed timetable for the Conference
8. Adoption of the report of the Preparatory Committee for the International Conference on Population, 1984

なお、この1984年国際人口会議に向けての準備委員会は、その後3月12日から16日にかけて再び開催されているが、これには、厚生省大臣官房政策課の府川哲夫課長補佐が出席された。

(山口喜一記)

「メキシコ人口活動促進プロジェクト」策定協力専門家調査団への参加

国際協力事業団（JICA）は、メキシコにおいて人口分野の技術協力の可能性を探るため、1983年11月20日から12月10日まで専門家調査団を派遣した。調査団は日本大学人口研究所小林和正教授を団長として、国際協力事業団医療協力特別業務室の田辺耕治室長代理、本研究所からは阿藤誠人口資質部長、東京大学大学院社会学研究科の石井紀氏（文化人類学専攻）の計4名から成り、主としてメキシコ内務省直属の人口審議会（CONAPO）の事務局（兼研究調査機関）と協力内容を協議した。